疾患名　乳癌　　No.135

プロトコール名　Weekly パクリタキセル

■進行・再発癌　□術後補助化学療法　□術前補助化学療法

□大量化学療法　□局所療法　□その他（　　）

投与順	抗癌剤名（商品名・略号）	1日投与量	投与法	投与時間	投与日（d1，d8等）
1	パクリタキセル（パクリタキセル・PTX）	80mg/m^2	div	1時間	d1、d8、d15
2					

1コース期間　（次コースまでの標準期間）	4週間（3投1休） ただし、術後補助化学療法の場合は、休薬なしで12週連続可
総コース数	PDまで
コース間での休薬の規定	白血球＜2000/mm^3、好中球＜1000/mm^3、 血小板＜5万/mm^3

減量規定・中止基準	※Grade3の白血球減少、Grade4の好中球減少、Grade2の末梢神経障害、Grade3以上の他の非血液毒性の合併あれば、次サイクルからは10mg/m^{2}減量。 Grade3以上の末梢神経障害、Grade4の非血液毒性があれば中止。
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ・ﾎﾟｽﾄﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ	ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ パクリタキセル投与30分前にデキサメタゾン6.6mg、ファモチジン20mg、レスタミン50mgの投与を完了すること。 グラニセトロン3mg

患者条件（初回条件）　※CTCAE　v4.0

・PS0～2
・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

・PS　3以上
・重篤な骨髄抑制のある患者
・感染症を合併している患者
・本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

その他（特記事項）

パクリタキセル
・本剤投与時には，0．22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。また，点滴用セット等で本剤の溶解液が接触する部分に，可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。
・本剤投与による重篤な過敏症状の発現を防止するため，本剤投与前に必ず前投薬を行うこと。前投薬としては本剤投与約12～14時間前及び約6～7時間前の2回，もしくは本剤投与約30分前の1回デキサメタゾンとして20mgを静脈内投与，本剤投与約30分前に塩酸ジフェンヒドラミンとして50mgを経口投与，本剤投与約30分前にファモチジンとして20mgを静脈内投与すること。